

学校保健委員会だより

さいたま市立本太小学校

令和7年12月24日

去る12月15日（月）午後3時より、本校ブックランドにて令和7年度学校保健委員会（第2回 本太カフェ）を開催しました。

アドバイザーとして、林 恵三子先生（学校医 早川医院 院長）・根岸君和先生（大宮国際中等教育学校 校長）・小川直生先生（市立浦和高校 副校長）をお招きし、お茶とお菓子をいただきながら、座談会形式で和やかな雰囲気の中、話し合いをしました。

簡単ではありますが、御報告いたします。

テーマ 「教育は愛」～中学・高校につながる小学校で身に付けたい力～

（始めに あいさつ）

千葉校長： 本日、御多忙の中アドバイザーとして御出席くださいました3名の先生方を御紹介します。

校医の林先生には、インフルエンザの流行時等に、毎回電話をしてお忙しい中、的確な御指導をいただき、学級閉鎖等の措置の御相談をさせていただいています。

大宮国際中等教育学校の根岸校長先生は、中学校の数学の先生、高校、教育委員会等を経験されているとても研究熱心な素晴らしい方です。

また、市立浦和高校の小川副校長先生は、中学の美術の先生で、野球が大好きな経験豊富な先生です。本校の教職員も各グループに入っています。どうぞ何でも聞いてください。お茶を飲みながら、気軽にお話ししてください。



《4つのグループに分かれてディスカッションしました》



ラッコグループ

◆思春期の子の接し方・・・その子に合わせた接し方をしたいが、難しい。押さえつけるのは良くない。◆学習の習慣化を図る・・・塾と学校生活のバランス、受験について。◆携帯、スマホ・・・使用についてルールや約束を。



パンダグループ

◆将来に関すること・・・小学生ではまだ考えがまとまらない。色々な情報に触れる。何かを続けること、熱中できることを大人がサポートする。先回りして守るより、子どもには小さい時にたくさん失敗させることが大事。



コアラグループ

◆親ができること・・・生活面でのフォロー、子どもへの声掛け。小さな頑張りをほめる、伸ばす、積極性や責任をもたせ、自分で決めさせる。将来について、大人の後ろ姿、失敗も恐れず見せる。



うさぎグループ

◆大宮国際中等教育学校では・・・中1と中3では発達にだいぶ差がある。探究的な学びをさせている。学び方を学ぶことは将来につながる。自立を目指していても、経験が大事。大人がある程度たくさんの選択肢を用意してあげる。失敗を恐れず、挑戦させる。寄り道も大事。チャンスを与える。

《アドバイザーの先生方から》

林 先生： 親ができることは、子どもたちが朝機嫌よく出かけられるように、心身の健康面のサポートをすることに尽きるのではないのでしょうか。これからも校医として、お子様の心身両面の健全なる成長のためのお手伝いをしていきたいと思います。



根岸先生

(大宮国際中等教育学校 校長)：



大宮国際中等教育学校には、定期考査がありません。順位は出ません。各教科に課題があって、個々に映画製作等をして提出させ、評価はルーブリックによって行います。最短距離で正解に導くのではなく、どうやってゴールにたどりつくか考えさせています。子育ては大変ですが、楽しいこともたくさんあり、お子さんと悩みを共有できることは素晴らしいと考えます。教育に正解はありません。子どもの成長のために、深い愛情を注いでいる保護者、教職員の皆様、こんな素敵な会を開催してくださりありがとうございました。

小川先生

(市立浦和高校 副校長)：



中学校で80人、高校で240人が入学して来ます。定期考査ごとに順位が出ます。成績がふるわなくて落ち込む子もいます。そんな時、まだのびしろがたくさんあると考えるか、感じ方しだいです。スクールカウンセラーの助けを借りることもあります。家族の励ましや千葉校長先生が常に言っていらっしゃるように、親が愛で包み込むといった接し方が全てではないかと思います。親が先回りをして準備しても、子育てに失敗はあります。失敗を恐れず、無償の愛を注ぐことだと思います。

保護者の方々からの感想

(※抜粋 紙面の都合で一部割愛等の変更ご容赦ください。)

- ◇子どものことに関して、一人で悩むことがあり今日来た色々な方々の言葉が励みになったりアドバイスになったりと、すごく自分のためになりました。色々な視点でいろんなことを考えるととても良い機会になりました。楽しかったです。
- ◇市立浦和と大宮国際の違いを直接お話を伺うことで更に感じる事ができ、とても良い機会でした。また、子どもが失敗した時の親のスタンスや、子どもが興味があることに対しての声掛けも新たな視点をいただけたと感じました。ありがとうございました。
- ◇アドバイザーであるお二人の先生のお話から、学校によって方針や方法が全く異なることを知りました。我が子の特性をもっと知り、我が子に適した学校や将来を親子で見つけていきたいと思いました。
- ◇貴重なお話を聞く機会をありがとうございました。お話の中で、先生方がどれだけ子どもたちを見守ってくさっているのかを改めて感じました。日々の生活の中で、時間ばかりが気になり、効率性を求めてしまっていたのですが、子どもの企画実践を見守り、必要であれば手助けをしたり、選択肢を与えて自身で決めさせたり、小学生だからこそできるたくさんの寄り道に、できる限りたくさんの寄り道に寄り添っていこうと考え直す機会になりました。
- ◇児童の将来の夢に関連して、出席者全員が自分の子どもの頃からの夢という誰でも話しやすい話題からスタートできて和やかな雰囲気でした。どの保護者も同じくらい話ができて良かったです。大宮国際では、テストが無いということを初めて知りました。市立浦和や他の公立中との明確な違いがわかりました。お茶やおいしいお菓子をご用意いただき、素敵な時間を過ごせました。
- ◇本日のお話を伺い、遠回りだと思っていることが、その子にとっては近道だったりする。寄り道を大切にして、選択肢を与えてあげる。チャンスを与えてあげることが、大切だと学びました。保護者も目の前のことに焦らずに、ゆったりとした子育てを目指していきたいと思います。



2学期の終業式の日、インフルエンザによる欠席等も減り、子どもたちの輝くまっすぐな瞳が一斉に体育館ステージに向かってのを見て、明るい未来が開けているよう感じました。これからも、本太の教職員全員でお子様の心と体の健やかな成長を全力で、支援していきます。御家庭の御協力に感謝申し上げます。

